

# 平成 22 年度 財団法人 わかやま産業振興財団実績報告

平成 22 年度における事業の概要及び財務状況は次のとおりである。

## 1 わかやま企業成長戦略事業

### (1) 中小企業中核支援センター事業

#### ア 支援機関等連携(人材交流強化)促進事業

各種支援機関との連携促進、人材交流の強化・促進を図るとともに近畿府県との交流を図るため近畿ブロック会議等へ参加した。また、職員が情報に関する能力開発のため講習会及び研修会等へ参加した。

#### イ 窓口相談事業

中小企業者等が抱える取引適正化・苦情紛争処理等の問題について、プロジェクトマネージャーや弁護士等が相談に応じた。

- ・取引適正化・苦情紛争処理等相談 260 件  
(内訳)

内 容	件数	内 容	件数
マーケティング	62 件	ビジネスプラン	26 件
経営全般	64 件	資金	26 件
I T	5 件	技術・I S O	28 件
会社設立	12 件	労務	0 件
事業提携	0 件	法律	0 件
特許	10 件	その他	27 件

- ・下請かけこみ寺相談事業 11 件 (うち弁護士相談 4 件)

#### ウ 情報機器整備事業

財団ネットワークシステムの管理、運営、高度利用を推進するとともに、県内中小企業からの情報化相談や経営に必要な情報の創出・収集・加工及びホームページ・財団サポートメールによる情報提供を行った。

- ・サポートメール件数(毎週配信) 3,149 件 (平成 23 年 3 月末現在)
- ・ホームページアクセス件数 (年間計) 1,191,690 件 (平成 23 年 3 月末現在)

#### エ 地域プラットフォーム事業

わかやま地域産業総合支援機構(らいぼ)の中核的支援機関として、新事業創出支援体制の連携強化のため、支援施策の情報交換を中心とした支援機関 11 機関、資金支援分科会 12 機関による支援施策分科会、14 機関による産学官連携分科会をそれぞれ開催したほか、参加支援機関 28 機関による幹事会を開催し、情報交換を行った。

### (2) 創業・経営支援事業

#### ア 委員会運営事業

中小企業支援事業に適合するビジネスプランかどうかを評価・審査する企業評価組織として、事業可能性評価委員会、企業カルテ評価委員会及び経営革新計画評価委員会の 3 委員会を開催し、各プランの評価及び審査を実施した。

委 員 会 名	開催数	選定数
事業可能性評価委員会	1 回	5 件
企業カルテ評価委員会	5 回	54 件
経営革新計画評価委員会	5 回	32 件

#### イ プロジェクトマネージャー設置事業

中小企業者等からの相談やベンチャー企業発掘及び支援体制の構築等支援事業を円滑に運営するため、プロジェクトマネージャー 1 名、インキュベーションマネージャー 1 名及び観光産業プロジェクトマネージャー 1 名を配置し、相談サービスの向上を図った。

#### ウ 専門家派遣事業

創業や企業経営の向上を目指す中小企業者等に対し、経営・技術・情報化等に関する中小企業診断士や技術士等の専門家を派遣し、診断助言を行った。

- ・派遣企業数 25社
- ・延派遣回数 190回

エ ものづくり支援アドバイザー事業

先進企業のノウハウを中小企業に蓄積するため、ものづくりに関する技術改善、生産管理等総合的なアドバイスを行うことができる先進企業OBチームを県内企業に派遣した。

- ・派遣企業数 2社
- ・延派遣回数 40回

オ 企業プロデュース事業

県内のやる気ある企業に対して、新たなビジネスモデルや「儲かる仕組み」をプロデュースする専門家チーム11名を組織し、人材・商品のブラッシュアップにより、企業の経営革新、第2創業、新製品開発及び販路開拓等企業のビジネスプラン実現への支援を行った。

また、専門家プロデュースチームによる会議を4回開催し、専門家の選定や支援の方向付け等の検討を行った。

- ・選定企業数 44社
- ・プロデュースチーム延派遣回数 81回

(3) 販路開拓推進事業

ア 企業登録の推進事業

企業訪問等により下請取引情報提供の基礎となる受・発注企業の登録を推進した。

イ 受発注情報収集提供等の促進事業

県外大手企業の発注計画や発注ニーズについて、ビジネスマッチングステーションを活用し発注案件の収集を図ったほか、財団独自の発注アンケート調査や専門調査員による発注企業開拓訪問などにより県内登録企業に情報提供を行うとともに、取引あっせんの成立に努めた。

ウ 企業情報収集提供等の促進事業

受発注案件、取引改善関係法令及び財団事業等を掲載した情報誌「財団だより」を毎月発行し、情報提供を行った。また、登録企業の自社製品、加工技術を掲載した中小企業ガイドブックを作成し、県外発注企業820社に配布するとともに、新規取引先の拡大と取引あっせんに努めた。さらに、県内下請中小企業の受注状況を把握し、下請取引業務の円滑化を図るための資料とするため「経営受注動向調査」を実施した。

(業務遂行状況表)

項 目		前年度まで	本年度	累計
登録企業数	発注企業	456	△15	441
	受注企業	953	△43	910
発注申出件数		2,560	147	2,707
受注申出件数		4,317	25	4,342
あっせん紹介件数		8,818	329	9,147
あっせん紹介 結果	成立件数	1,626	42	1,668
	不成立件数	7,192	287	7,479
契約成立当初受注金額(千円)		2,692,156	140,787	2,832,943
指導相談件数	計	16,393	435	16,828
	あっせん相談関係	9,102	435	9,537
	経営関係	4,333	0	4,333
	技術関係	1,879	0	1,879
	苦情・紛争関係	119	0	119
その他		960	0	960

発注開拓企業数	1,734	76	1,810
---------	-------	----	-------

エ 広域商談会開催事業

県内外の大手メーカー等を招へいし、受注企業とのマッチングの場を提供する個別商談会を和歌山市、京都市においてそれぞれ1回開催し、取引先の開拓、取引あっせんの円滑化に努めた。

また、優れた自社製品、産品を有する県内企業と県内外の購買企業との商談の場「わかやま産品商談会」を和歌山市、大阪市においてそれぞれ1回開催し、新規取引先の開拓等販路開拓を行った。

- ・あっせん成立件数 42件 契約金額 約1億4千万円
- ・出展企業数 142社 購買企業 440名

オ 中小企業総合展事業

中小企業者等の優秀な技術、製品等を一堂に展示し、中小企業者等の製品開発力、加工技術等を紹介するとともに、新規取引先の開拓及び広域的な受注機会の増加に努めた。

カ 販路開拓支援事業

新商品等を有する県内企業が首都圏等で開催される専門的分野の展示会に出展する場合の経費や販路開拓のための調査、広報及び多言語ホームページの作成等に係る経費の一部を助成した。

- ・補助企業数 6件 補助額 2,330,000円

補助事業者	補助対象商品等	補助事業内容	補助額 (実績)
今城メリヤス(株)	Hight Flutter (衣類)	ファッション合同 展示会	194,000
(有)嶋本木工所	自社ブランド [SIM]の新製品	東京国際家具見本市	414,000
太洋工業(株)	各種モジュール検査 用治具「Cクリップ」	IPD International 2010	469,000
阪和電子工業(株)	静電破壊自動測定装置 「X-5000」	セミコン・ジャパン 2010	500,000
湯浅醤油(有)	だし醤油、手作りし ょうゆキット	地方銀行フードセレク ション 外国語HP(英語・フ ランス語)	360,000
横綱工業(株)	ひよこの卵ボディー タオル、カラーデコ トイレブラシ・トイ レポット	インターナショナルギ フトショー春2011	393,000

(4) 研究開発強化事業

ア 産学官研究推進事業

県内企業の研究開発を促進するため、産学官の人的ネットワーク構築や研究開発テーマの調査・研究検証を目的として、大学、公設試験研究機関の研究員等が主宰する産学官研究コンソーシアム5件の運営を助成した。

- ・ネットワーク構築 2件
  - 県産果実利用新商品開発研究コンソーシアム(近畿大学)
  - 次世代地域資源活用コンソーシアム(和歌山大学)
- ・事業化可能性調査 3件
  - 「ウツボ缶」開発研究会(株マルサ)
  - 耐風雨性能の高い軽量瓦と施工要領の開発(株アルプス)

いちじくの加工品（ダイナミック食品㈱）

イ 新連携共同研究事業

地域における経営資源等を活用した新事業創出を目指す中小企業者等が、大学、国立工業高等専門学校や公設試験研究機関との連携により共同研究を行うとともに、事業化を目的として取り組む5グループ（連携体）に対し、共同研究を委託した。

番号	テーマ	委託企業 （コア企業）	連携体構成機関
1	カーボンニュートラルを目指した有機EL素材の開発	(株)日本化学工業所	和歌山県工業技術センター
2	安心・安全設計スプレー噴霧機構の開発	日進化学(株)	和歌山大学 和歌山県工業技術センター
3	電子写真機器用静電植毛ブラシの製造に用いる従来に無い繊維長を有したパイル繊維の加工技術の開発	(有)北岡シャーリング工業	和歌山県工業技術センター
4	高機能性柑橘に含まれる有効成分ナリルチンを最大限に活用する健康食品の開発	焼きたてのパンサンタ	和歌山工業高等専門学校
5	梅と和歌山特産農産物の新規コーラボレーション加工による機能性向上製品の開発	(株)トノハタ	和歌山県立医科大学 和歌山工業高等専門学校

ウ 新産業育成支援事業

県内企業が有する優れた技術（こだわり技術）を活用し、21世紀型の「ものづくり企業」の創出を促進するため、新製品・新事業の創出等「ものづくり」に要する経費の一部を助成した。

・補助企業数 5件 補助額 5,532,000円

補助事業者	補助事業内容	補助額（実績）
(株)アレック	脳科学からアプローチする世界初「認知症予防システム」事業	1,528,000
高木彫刻(株)	レーザー露光による多段彫リエッチング加工	2,162,000
(有)カネヨシ由谷水産	太地町のクジラとみなべの南高梅を使用した完全無添加・無漂白のさらし鯨の開発	1,120,000
(株)メイワ	アイスコーヒークーラーのモデルチェンジ	239,000
ダイナミック食品(株)	紀州ぽん酢、梅ごのみ、ダイナミックタレのラベル、容器及び味の改良	483,000

(5) 知的財産戦略事業

ア 新事業化支援コーディネート事業

県内中小企業が保有する知的財産や技術を活用したビジネスモデルの構築に対するアドバイスや、県内企業の技術ニーズと大学や県立試験研究機関が有する特許・技術シーズのマッチングによる事業化支援等を行うため、新事業支援コーディネーターを設置した。

- ・企業訪問件数161回、来訪27回
- ・特許等の出願・活用・契約支援24件
- ・新事業・新商品開発支援11件

- ・知的財産関連事業支援8件
- イ 技術連携コーディネーター事業  
 県内企業が保有する開放可能な特許技術を掘り起こすことにより、他企業へのライセンス使用を推進、また、技術ニーズを把握し、外部技術（県内外企業、県立試験研究機関、大学等）の導入を支援するため、技術連携コーディネーターを設置した。

- ・特許・技術シーズ紹介 23件
- ・特許・技術ニーズ把握 13件

- ウ 科学技術コーディネーター機能強化事業  
 県立試験研究機関の研究成果の技術移転、公募型研究開発資金獲得のため産学官連携による研究開発プロジェクトの立案等をアドバイス、コーディネーターとする科学技術コーディネーターを設置した。

- ・年間企業・大学等訪問件数 31件

(6) 成長企業育成支援事業

地域中核企業の育成を目指すため、成長企業が抱える課題に対し、重点的・継続的な集中支援を行うサポーターチームを結成し、支援を行った。

- ・支援企業数 3社
- ・派遣延回数 55回

企業名	支援内容
(株)寿精密	①更なる5S、ムダ排除による経営改革 (やらざるを得ない仕組みの構築)
三木理研工業(株)	①エチレン尿素の新合成法の開発 ②乳化重合関連技術の確立
(株)インテリックス	①フランチャイズ事業の構築 ②経営インフラの整備 ③事業展開促進

(7) 中小企業中核人材導入支援事業

地域におけるリーディングカンパニーの育成・支援を目的とし、新事業の展開等に取り組む中小企業者等の成長に必要な中核人材の導入支援を行った。

委託先企業	支援企業
紀陽リースキャピタル(株)	(株)岡畑農園
	(株)小松金属

2 中小企業支援基盤整備促進事業

(1) 情報化促進普及啓発事業

企業支援データベースの拡充や情報化基盤に関する保守管理等を行った。

3 国際経済交流支援事業

県内企業の国際的なビジネス活動を支援するため、和歌山国際経済サポートデスク相談員1名を設置し、貿易・投資等の相談に応じるほか、グローバルな経済、貿易等、最新情報の収集・提供を行った。また、和歌山国際ビジネス交流サロンを創設し、中小企業者等との総合交流の場を持ち企業間の相互連携意識の醸成、国際化マインドの育成等に努めた。

- ・相談件数 延べ177件

<地域別相談実績>

アジア	ヨーロッパ	北米	その他	合計
107件	14件	31件	25件	177件

<講座・セミナー開催実績>

開催日	講座・セミナー名	参加者数
10月7日	中国内陸地域セミナー	44名
11月5日	貿易実務講座「英文レター編」	60名

2月10日	アジア消費市場セミナー	37名
-------	-------------	-----

<その他>

開催日	内 容	参加者数
7月21日	第5回和歌山国際経済交流サロン	15社
11月24日	第6回和歌山国際経済交流サロン	25社
3月8日	第7回和歌山国際経済交流サロン	21名
3月16日	中国ビジネス企業意見交換会及び個別相談会	15名

#### 4 わかやま中小企業元気ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済」を目標に「地域経済を支える中小企業を育成・振興し、足腰の強い地域産業の創出・育成」の実現を図るため、地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、中小企業者等と大学、国立工業高等専門学校や公設試験研究機関との共同研究等から生まれた研究成果の事業化及び中小企業者等による新たな事業構想を発掘するためのコーディネート活動に対し、支援を行った。

・支援内訳

単位：円

事業名	件数	補助率	交付決定額
地域資源活用事業A	17件	2/3	34,549,000円
地域資源活用事業B	6件		30,720,000円
新産業育成事業A	2件		7,563,000円
新産業育成事業B	4件		37,827,000円
産業支援機関事業	4件	4/5	3,057,000円
合 計	33件		113,716,000円

#### 5 わかやま農商工連携ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済の創造」の実現に向け、本県経済の中核を担う中小企業者と農林漁業者の活性化を図るため、中小企業基盤整備機構、和歌山県、県内の金融機関等の資金で「わかやま農商工連携ファンド」を創設し、県内の農商工連携を促進させ、地域経済の振興に資する取り組みを当ファンドの運用益によって助成した。

・助成件数 6件 交付決定額 18,795,000円

助成事業者	事業内容	交付決定額
(株)石橋 ワサビの里の農業を育てる会	ワサビの里の山菜・キノコプロジェクト	4,768,000
紀州中央農業協同組合 有田食品(株)	鳥獣害対策施設加工肉（いのしし）を使用したレトルトカレー等の地域ブランド商品の開発・製造・販売	2,875,000
(株)紀州細川 すさみ開発(株)	紀州南高梅の梅酢加工品「梅B×70」を飼料に活用した「紀州うめぶた」の開発及びブランドの確立	1,248,000
(株)つじや辻本商店 紀ノ川農業協同組合	和歌山産の野菜（きゅうり等）を用いた外食産業向け漬物商品の開発	5,000,000
(有)キセイテック (有)原見林業	スギ・ヒノキ等の抽出液による農業用「特定防除資材」の開発	2,362,000
ながみね農業協同組合 (有)橋本漆芸	特産干山椒を用いた鮮度・香りのよい山椒粉及びデザイン性の高い紀州漆器容器の開発	2,542,000

#### 6 和歌山県中小企業応援センター事業

和歌山県中小企業応援センターとして、応援コーディネーターを1名設置し、中小企業支援

機関等からの要請に基づく専門家派遣を行った。また、特定支援分野として、地域資源及び農工商連携等に係る相談窓口を設置し、必要に応じ県内のコンソーシアム期機関と連携しながら、中小企業が必要な情報提供を行うとともに、地域資源等の事業化に取り組む企業の掘り起こしとブラッシュアップ及びフォローアップを支援した。

- ・相談件数 209 件
- ・専門家派遣支援 10 社
- ・情報提供（ものづくりセミナー）1 回
- ・地域産業資源活用事業計画支援 6 社
- ・農工商連携事業計画支援 3 社

## 7 元気企業技術データベース構築事業

県内中小企業の優れた技術、こだわりの技術を調査・発掘し、情報発信することで県内中小企業の受注機会の増加、販路開拓を促進するため、当財団ホームページ上で公開している「元気企業技術データベース」への企業登録を促進した。事業の実施に際し、本事業の母体である和歌山県緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業の趣旨に則り調査員及び事務員を新規に雇用した。

- ・データベース登録企業数 1,395 件（累計 1,980 件）
- ・新規雇用者数 6 名

## 8 債権管理事業

### (1) 設備貸与・資金貸付事業

設備貸与企業や設備資金貸付企業に対して、巡回指導により経営基盤の強化を図るとともに、未収企業には債権回収の強化を図った。なお、未収債権 616,130 円を回収した。

### (2) 創造的中小企業創出支援事業

ベンチャーキャピタルを通じて間接投資企業の経営状況を把握することに努めた。

## 9 技術振興事業

### (1) 技術研修事業

技術人材育成のための各種講座を開催した。

#### ア 基礎技術講座

- ・講座回数 6 回 参加者総数 124 名

	内 容	開 催 日 等	参加者数
1	食品製造業のための 5 S セミナー	平成 22 年 11 月 4 日 和歌山県立情報交流センター Big・U	26 名
2	製造現場改善活動の基本と実践ポイント研修	平成 22 年 6 月 (6/3、6/10、6/15) 和歌山ビッグ愛研修室	20 名
3	製造原価の基礎知識とコストダウンの実践研修	平成 22 年 7 月 (7/1、7/8、7/13) 和歌山ビッグ愛研修室	30 名
4	品質不良低減実践のポイント研修	平成 22 年 8 月 (8/18、8/25、8/30) 和歌山ビッグ愛研修室	21 名
5	生産性向上実践のポイント研修	平成 22 年 11 月～12 月 (11/17、11/25、12/1) 和歌山県ビッグ愛研修室	19 名
6	商品開発マネジメントと問題解決の実践的手法研修	平成 23 年 1 月～2 月 (1/21、1/26、2/2) 和歌山ビッグ愛研修室	8 名

イ 夏休み子供科学実験工作教室

・ 8月9～11日開催 参加者 38名

(2) 専門技術研究会事業

県内の様々な産業分野における専門技術の動向、専門知識等の普及と参加企業相互の情報交換を図るため、公設試験研究機関、大学等の研究員が主宰する専門技術研究会の運営を助成した。

・ 研究会数 12研究会

番号	研究会名称	研究会代表研究主査 所属機関	人数構成			計
			産	学	官	
1	3次元CG活用研究会	和歌山県工業技術センター	15	2	7	24
2	ファインケミカルズ研究会	和歌山県工業技術センター	31	8	7	46
3	デジタルエンジニアリング研究会	和歌山県工業技術センター	10	3	7	20
4	基礎機器分析技術研究会	和歌山県工業技術センター	45	0	18	63
5	製品企画・製造・商談の前に知っておきたい繊維・プラスチック材料の基礎知識	和歌山県工業技術センター	21	0	9	30
6	太陽電池研究会	和歌山県工業技術センター	26	1	13	40
7	日本薬局方研究会	和歌山県工業技術センター	31	0	7	38
8	環境技術研究交流会	和歌山県工業技術センター	14	2	10	26
9	感性価値創造のための、ものづくりと評価技術の研究会	和歌山県工業技術センター	14	0	5	19
10	食における品質管理研究会	和歌山県工業技術センター	24	1	8	33
11	木質バイオマス利活用研究会	和歌山県工業技術センター	10	1	7	18
12	疾病とプロバイオティクス	和歌山県立医科大学	12	3	1	16
計			253	21	99	373

(3) 技術情報提供事業

テクノ振興部の活動等を紹介する情報誌「テクノウェーブWAKAYAMA」を発行した。

(4) 技術交流促進事業

新たな共同研究等の連携体の構築による「ものづくり」の創出を目的に「わかやまテクノビジネスフェア'10～ものづくり創出祭～」を開催した。

開催日 平成22年10月20日(水)

場所 和歌山ビッグ愛 展示ホール

来場者 450名

同時開催 第4回特許ビジネスフェア in わかやま、第18回インフォ・フェア'10 in わかやま、わかやま産品商談会 in 和歌山

展 示 ≪企業≫(株)メイワ、(株)アイスティサイエンス、(株)寿精密、新中村化学工業(株)、(株)ワメンテクノ、伏虎金属工業(株)、(有)下津フードサービス、焼きたて



のパンサンタ、JAわかやま、WAKAYAMA T&M  
 ≪試験研究機関・支援機関等≫和歌山県スタートアップ・オフィス、国立和歌山工業高等専門学校、和歌山県工業技術センター、和歌山県農林水産総合技術センター、公立大学法人和歌山県立医科大学 みらい医療推進センターげんき開発研究所、社団法人発明協会 和歌山県支部、財団法人わかやま産業振興財団

プレゼンテーション 18件

(5) 企業交流促進事業

話題提供者を中心に、自然科学・人文科学を含む広い範囲のテーマについて理解を深めるとともに、各分野の参加者が自由な立場で出会い、産学官のより一層の交流を図るため、テクノサロンを6回開催した。

回数	開催日	演題等	講師等
105回	平成22年 5月28日	「利益と元気を出す道具の話」 ～創造力で攻める そうかそんな手があったのか～	(株)アイデア 代表取締役社長 前古 護 氏
106回	平成22年 7月22日	「開発期間は半減出来る」 ～品質工学の基本的考え方と狙い～	のっぽ技研 代表 長谷部光雄 氏
107回	平成22年 10月25日	見学会 ① 京セラファインセラミック館 ② サントリービール京都工場	
108回	平成22年 11月12日	「すべてのビジネスに新しい発想を」～もっとも自然な発想習慣をつけるアイデアマラソン～	アイデアマラソン研究所 所長 樋口健夫 氏
109回	平成23年 1月20日	「国立学校の国際開放と社会開放」	国立和歌山工業高等専門学校 校長 堀江振一郎 氏
110回	平成23年 2月25日	「ヒット商品に見る新製品の発想と知財戦略」	テクノリサーチ(株) 代表取締役 新井喜美雄氏

(6) 広域的新事業支援連携促進事業

ア 和歌山大学、近畿大学並びに県内情報サービス関連企業との産学官連携のため、若手研究者と情報サービス企業による研究成果発表会を2回開催し、最新の技術と知識の普及を行った。

・平成22年9月10日 ルミエール華月殿

発表4件（和歌山大学システム工学部教員、近畿大学生物理工学部教員、会員企業）

パネルディスカッション（教員5名、企業2名）

・平成23年2月2日 ルミエール華月殿

和歌山大学システム工学部大学院生、近畿大学生物理工学部大学院生によるショートプレゼンテーション且つポスターセッション 27件

イ ワンディ・WINTEC in 海南

県内企業の技術力の向上と研究開発を支援するため、講演、工業技術センター技術紹介・成果発表、財団法人わかやま産業振興財団業務の紹介や技術情報の提供をおこなった。

日時 平成23年1月28日（金）

場 所 海南市海南保健福祉センター  
内 容 技術紹介 7 件、講演 2 件、企業との共同成果展示 8 件  
来場者 157 名

ウ 平成 22 年度農業・林業・水産技術成果発表会

農林水産技術に係る試験研究機関の成果発表を行うとともに、財団法人わかやま産業振興財団が行う農林水産物・技術を活用した商品開発等の補助金等を紹介。

林業技術成果発表会

日 時 平成 23 年 2 月 21 日（月）  
場 所 上富田町文化会館  
内 容 成果発表 5 件  
参加者 65 名

農林技術成果発表会

日 時 平成 23 年 2 月 22 日（火）  
場 所 和歌山県自治会館  
内 容 記念講演、発表 16 件  
参加者 98 名

水産技術成果発表会

日 時 平成 23 年 2 月 22 日（火）  
場 所 紀南文化会館  
内 容 記念講演、発表 4 件  
参加者 72 名

## 10 中小企業知的財産戦略支援事業

(1) 知的財産戦略支援事業

知的財産戦略の社内体制作りにより意欲のある中小企業者等を公募により選定し、知的財産専門家（弁理士）を派遣し、企業の知的財産戦略の策定を支援した。

- ・派遣回数 延べ 20 人回
- ・派遣企業数 1 社（大洋化学株）

(2) 中小企業外国出願支援事業

知的財産の海外戦略を有する中小企業 4 社に対し、海外特許及び商標出願にかかる費用の一部を補助した。

福原ニードル株	（特許 インド、中国）
ヤマホ工業株	（特許 タイ）
三木理研工業株	（特許 中国）
株インテリックス	（商標 中国）

## 11 都市エリア産学官連携促進事業（一般型）（文部科学省委託事業）

実用化・事業化に向けた共同研究を実施するとともに、研究交流会の開催及び展示会への出展等を行い、連携促進の活動を実施した。

(1) 共同研究事業

- ・次世代型青果物剥皮技術の開発
- ・一次加工果実のための新規安全性獲得・管理技術の開発
- ・クエン酸発酵による新しい果実飲料の開発
- ・健康増進作用を有する機能性成分の解析とその原体調製法の開発
- ・健康増進作用を有する機能性成分の動物及びヒトでの評価
- ・香気成分・色素成分の活用技術開発
- ・機能性の高い梅果実供給に向けた栽培管理技術の開発

(2) 平成 22 年度における研究交流事業

## ア 産学官連携の推進

事業関連分野の最新情報やユーザー企業による新製品開発などの話題を提供する研究交流会を開催した。

- ・研究交流会 2回
- ・成果発表会 1回

## イ 研究開発成果の普及活動

## 12 ふるさと雇用再生特別基金活用事業

「商品開発計画作成」及び「商品開発計画スケジュール管理」をサポートする商品開発サポーター1名を設置し、新たな商品開発のアイデアを具体的に計画書として作成するとともに、スケジュール管理を側面から支援した。

- ・相談企業数 66社、相談回数 343回、助成金等の獲得 11件

また、「研究開発事業事務支援」を行う事務支援員1名を設置し、国等の競争的研究開発資金に関係する申請書類の作成や経理等の事務手続きについて、相談対応やアドバイス等の支援を行った。

- ・対応した主な事業・・・戦略的基盤技術高度化支援事業

## 13 企業革新支援事業

県内中小企業者が革新的な産業分野において新製品の試作開発等の新たな事業展開を実施する事業に対し助成し、平成22年11月に全てのテーマが終了した。

- ・助成件数 5件

	実施テーマ名	採択企業名
1	自動車用樹脂ギアーの開発	(株)ワメンテクノ
2	高速道路用アクリル板遮音壁の量産試作	カナセ工業(株)
3	リチウムイオン電池のメイン原料であるカーボンスラリー液を移送する2軸スクリーポンプの改良・開発	伏虎金属工業(株)
4	染色分野の洗浄機を基盤としてフィルム分野に挑戦する為の高機能洗浄機の試験開発	(株)山東鐵工所
5	産業用インバーターエコチラーの開発	(株)メイワ

## 14 ふるさと雇用再生特別基金活用事業（販路開拓員設置事業）

販路開拓員2名を配置し、地場産業等県内中小企業を幅広く訪問することにより、企業ニーズに合った販路開拓を支援した。具体的には、各種補助金や産品商談会の紹介・あっせん、大手企業との商談会に向けた企業情報調査を実施した。

訪問企業：日用雑貨、漆器、食品メーカー554社、機械組立・部品加工等メーカー153社

## 15 ふるさと雇用再生特別基金活用事業（海外販路コーディネーター設置事業）

海外販路コーディネーター1名を配置し、海外市場を目指す県内企業に対して貿易実務全般や商品企画から販路開拓までの各種サポートを実施した。具体的には、わかやま産品販路開拓アクションプログラムの円滑な遂行のため、各種支援事業の周知と企業の掘り起こしのほか、集団出展に係る事前調整・引率・事後フォロー及び個別出展に係る助言・事後フォロー等を行った。

## 16 わかやま産品販促支援事業

わかやま産品販路開拓アクションプログラムに基づき、県内企業が持つ優れた製品・技術力などのわかやま産品を発信するため、国内外の著名な展示会への集団出展や海外専門展示会への個別出展補助、大手メーカーとの展示商談会の開催など販売促進支援を行った。

(海外)

- ・海外展示会集団出展支援（NY国際ギフトフェア）3社
- ・海外個別出展支援（補助金4,261千円）5社

(国内)

形態	開催日	内容	参加企業数
大手企業との商談会	平成22年12月22日	大和ハウス工業新技術・新工法展示商談会（奈良市）	30社
大手企業との商談会	平成23年3月17日	大阪ガスオープンイノベーション・技術ニーズ説明会（和歌山市）	22社
ものづくり地域での商談会	平成23年3月8日	和歌山ものづくり取引拡大商談会（堺市）	出展者10社 来場者33社
専門展示会への集団出展	平成22年9月7日～10日	第70回東京国際ギフト・ショー秋2010	10社
専門展示会への集団出展	平成23年1月19日～21日	第40回インターネプコン・ジャパン	4社

#### 17 地域イノベーション創出研究開発事業（近畿経済産業局省委託事業）

近畿経済産業局から委託を受けて行う大型研究開発事業で、平成22年度は1件の採択を受け、和歌山県工業技術センターと県内企業の研究開発に参画する機関への再委託により、研究開発事業を実施している。

採択テーマ プリンテッド・エレクトロニクス用受容層の開発  
共同研究体 新中村化学工業(株)、和歌山県工業技術センター  
事業実施機関 平成22年度～平成23年度

#### 18 戦略的基盤技術高度化支援事業（近畿経済産業局委託事業）

近畿経済産業局から委託を受けて行う大型研究開発事業で、平成22年度は2件の採択を受け、和歌山県工業技術センター、国立大学法人和歌山大学、県内企業などの共同研究に参画する機関への再委託により、研究開発事業を実施している。

- ① 採択テーマ MEMS技術を応用した静電気非接触可視化システムの実用化  
共同研究体 阪和電子工業（株）、和歌山県工業技術センター  
事業実施期間 平成22年度～平成24年度
- ② 採択テーマ 自動車エンジン用ピストンの生産効率の向上に資するダイカスト鑄造技術の開発  
共同研究体 アクロナイネン（株）、国立大学法人和歌山大学、和歌山県工業技術センター  
事業実施期間 平成22年度～平成24年度